

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2019/11/17
所属学部・ 研究科・学府	融合理工学府
所属学科・専攻	創成工学専攻 デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	シンシナティ大学											
留学先所属学部等	Industrial Design											
留学期間	出発日	2018/8/16	入学日	2018/8/27	修了日	2018/12/7	帰国日	2019/12/12				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他(シェアハウス)						
	通学時間	25分				On campus						
	通学方法	徒歩										
	居室スペース	<input type="checkbox"/>	個室	()	人部屋	その他()						
	共有スペース	<input type="checkbox"/>	完全個室	<input type="checkbox"/>	キッチン	<input type="checkbox"/>	トイレ	<input type="checkbox"/>	バス	<input type="checkbox"/>	リビング	<input type="checkbox"/>
食事	自炊	30 %	学食	30 %	外食	30 %	その他	() %				
保険	海外旅行保険(名称)	AIG損保										
	派遣先大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 強制加入				
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	成田	⇄	デトロイト(飛行機)	⇄	シンシナティ(飛行機)							

2. 留学にかかった費用について

総費用	84万 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	20万 円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input type="checkbox"/>	両親	20万 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	5万 円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/>	JASSO	40万 円	<input type="checkbox"/>	その他名称()	円
その他	<input type="checkbox"/>	千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/>	その他()	円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	5万 円	その他()	円
留学中	海外送金	キャッシング	○ その他(クレジットカード)	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	2万程度(ワクチンなど)
住居にかかった費用	月々5万円程
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			22万	円
海外旅行保険			12万	円
OSSMA			1万	円
査証・在留許可証			2万	円
住居			25万	円
食費			20万	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費			2万	円
光熱費			0	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	○	無
1 Design Visualization 2	正規	3	有	○	無
2 Design Technology 2	正規	3	有	○	無
3 Product Design Studio 2	正規	3	有	○	無
4 Product Design Communication 2	正規	3	有	○	無

5				有		無
6				有		無
7				有		無
8				有		無
9				有		無
10				有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

Catlystというウェブサイトがあり、そこで授業の履修登録やシラバスの確認などをする。また、各授業の最初の回は授業説明になっており、そこで授業の詳細な内容についての情報を入手する。

3-2. 授業内容、方法に関して

私が受けた授業はアウトプット重視なものが多く、全ての授業で作品を作った。例えば、スケッチとレンダリングをする授業やパッケージコンセプトからグラフィックまでをする授業などである。4つ取った授業のうち3つは主に個人ワークで講義を聞くというよりはどンドンスケッチや3D、グラフィックを作って自分のスキルを上げるものとなっている。どの授業でも最終的に何かを提案し、発表して評価される。

3-3. 語学力について

語学力については、アメリカ人学生及び留学生は英語を流暢に話すことができる。講義だけでなく、グループディスカッション、プレゼンも多いので、英会話を難なくできることが求められる。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館はとてもきれいで、夜遅くまで空いており、作業しやすい場所になっている。学内には学食だけでなく、サブウェイといったファストフード店が数店舗あり、利用しやすい。また、8時以降はシンシナティ学生専用のタクシーが無料で使用でき、家まで送り届けてくれる。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

入学が決まった後、学生寮を紹介されるが、比較的料金が高めなので自分で探すことにした。まずは日本にいるうちにcraigslistやfacebookを使ってネットで探していた。しかし、実際の家感じが分からなかったのに加えなかなか決まらなかったため、早めに渡米し自分の足で様々な物件を見ることにした。住居が決まるまでの間は、Airbnbを使ったり、ユダヤ系学校の寮に格安に住まわせてもらった。結果的に二週間で住居を決めることができた。実際にオーナーと話したり、実際の物件を見たことで安心して物件を決めることができた。

4-2. 食生活について

アメリカでは、基本的に外食をして過ごしていた。特に学内にあるsubwayやburger kingを毎日利用していた。また、学外には多数の飲食店があり、ピザやハンバーガーだけでなく、中華、韓国、インド、メキシコ料理も食べることができる。外食が結構おいしかったのと、学業が忙しかったことで自炊をすることはなかったが、たまに野菜を買ったりしていた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

私は渡米する前に、日本でプリペイドsimカードを購入した。無制限ではないが、月々三千元ほどで使用できた。しかし、入学が決まった際にsimカードが送られてくるのだが、そっちの方が安く使用できるためそれを使用することを勧める。学内と家の両方にwi-fiが備わっていたので、特に困ることはなかった。

4-4. 服装について

夏のシンシナティはとても暖かく、半袖で生活できた。しかし秋や冬は思ったより寒かったので、fall semesterに行く場合も防寒用の衣類が必要だと感じた。

4-5. 健康管理について

食事を注意することが健康管理において重要だと感じた。アメリカ人の中年の多くはとても太っており、ファストフードばかりの生活をおくっていると太ると思われる。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

使う機会はなかった。

4-7. 課外活動について

デザインにおける課外活動では、学内で行われる車関係のスケッチワークショップによく参加したり、シンシナティの美術館巡りを行った。文化的側面での課外活動は、シンシナティ楽団のオーケストラを聴きに行ったり、クリーブランドにあるロックの殿堂に行き、ロックミュージックについて学んだ。また、アメリカ人の教授に連れられて、いろんな地元のレストランで食事をした。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学外のコミュニティでは、キリスト教系のコミュニティに一度だけ参加した。そこは留学生を歓迎していて、ご飯などを無料で振る舞ってくれた。

4-9. 日本から持参してよかったもの

風邪薬。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

防寒用ブーツ、カイロ

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

人種の違いや多様性には特に気をつけないといけないと感じた。例えば、ポートフォリオには自分の顔写真などは載せない、男か女の表記もしないなど気をつけられている。アメリカに限らないが、自分の意見をしっかり言わないと理解してくれない。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

アメリカ・クリーブランド(ロックの殿堂見学)2018年11月(3日間)、約2万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

学内にトレーニングルームが完備されており、筋トレやランニングだけでなく、プールで泳ぐこともできる。いい運動になるので、気分転換にはトレーニングルームをいくことをお勧めする。

5. その他

5-1. 留学先大学について

シンシナティ大学はインダストリアルデザインで非常に有名な学校です。プロダクトデザインの授業が多くあり、全てが実践的な内容になっている。なぜなら、半年ずつインターンに行くカリキュラムになっており、インターンに行くための実力をつける必要があるからだ。学生は皆熱心に勉強しており、切磋琢磨し実力を伸ばすための環境づくりがなされている。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

ポートフォリオを事前につけておくことやTOEFLやIELTSなどの英語の試験を受けておく方がいいと思われる。

5-3. 留学を終えて

シンシナティ大学に行けてよかったと感じている。留学では、日本では学べないようなことを学ぼうと考えており、シンシナティ大学ではそれが実現できる大学であったと感じている。